

- 単元目標**
- ・積極的に挨拶をしようとする。
 - ・英語での挨拶や、自分の名前の言い方に慣れ親しむ。
 - ・世界には様々な言語があることを知る。

評価 本単元では、児童がはじめて外国語に出会うことから、原則として評価結果を記録しないが、目標に向けての指導は行う。

表現 Hello. My name is ～. What's your name? Thank you. Goodbye.

単元計画（2時間）

時	目標と主な活動	評		
		コ	慣	気
1	<p>英語での挨拶や、自分の名前の言い方に慣れ親しむ。</p> <p>○「どんなことを勉強するのかな。」表紙を見て、どのような場面かを想像して発表する。</p> <p>【L1】誌面 p.2,3 を見て、知っている英語を言う。音声教材を聞いて、登場人物の名前と挨拶の表現を知る。</p> <p>（ ）に名前を記入する。</p> <p>○「あいさつをしよう。」友達と挨拶をし、名前を言う。</p> <p>【P】名刺を作る。</p> <p>【C】“Hello!”</p> <p>○世界で活躍する日本人の紹介の映像を見る。 (We can 1, p.2-3)</p>			<p>本時では、原則として評価結果を記録しないが、</p> <p>目標に向けての指導は行う。</p>
2	<p>世界には様々な言語があることを知り、積極的に英語で名前を言って挨拶をしようとする。</p> <p>○「あいさつをしよう。」友達と挨拶をする。</p> <p>【L2】音声教材を聞いて、世界の挨拶を知る。</p> <p>【L3】音声教材を聞いて、外国の友達の名前を知る。（ ）に名前を記入する。</p> <p>【C】“Hello!”</p> <p>【A】教室内を歩いて回り、出会った友達と挨拶をし、名刺を交換する。</p> <p>○登場人物が話す音声を聞き、何が好きかを聞き取って線で結ぶ。（We can 1, p.4）</p>			<p>本時では、原則として評価結果を記録しないが、</p> <p>目標に向けての指導は行う。</p>

1-Lesson 1 Hello! 1/2時間		
目 標 英語での挨拶や、自分の名前の言い方に慣れ親しむ。		
準 備 教師用絵カード（登場人物）、ワークシート（名刺カード：切り離しておく）、デジタル教材、（振り返りカード）		

児童の活動	指導者の活動	準備物
○「どんなことを勉強するのかな。」 ・表紙を見て、どのような場面かを想像して発表する。	・“Hi, friends! 1”の表紙を見て、どのような場面かを想像し、誰がどんなことを言っていると思うかを尋ねる。	デジタル教材
【Let's Listen 1】 p.2,3 ・誌面を見て、知っている英語を言う。音声教材を聞いて、登場人物の名前と挨拶の表現を知る。（ ）に名前を記入する。	・誌面 p. 2, 3 を開け、誌面を見て知っている色、衣服などの英語を自由に発表させ、誌面に興味をもたせる。 ・音声教材を聞いて、登場人物の名前を聞き取らせ、（ ）に名前を記入させる。 ・手前の2人、中段の3人、奥の2人の挨拶の違いに気付かせるようにする。	教師用絵カード（登場人物） デジタル教材
○「あいさつをしよう。」 ・指導者の挨拶に答える。 ・友達と挨拶をする。 ・状況設定にふさわしい挨拶を言う。	・数名の児童と挨拶をする。 ・周りの友達と挨拶をさせる。 ・おなががすいたとき、眠いとき、楽しい気分ときなどの hi, hello の言い方を工夫して言わせる。	
【Let's Play】 p.7 ・名刺を1枚作る。 ・教室内を歩いて回り、出会った友達に名刺を見せて、挨拶をする。 ・挨拶をした後、じゃんけんをし、勝ったらサインをもらえるゲームをする。	・あらかじめ作成しておいた自身の名刺を見せ、数名の児童に挨拶をして名刺を渡す。 ・児童にも名刺を作ろうと呼びかけ、名刺を作らせる。 ・名刺を見せて、友達と挨拶をさせる。 ・サインをたくさん集めるのが目的ではなく、ゲームで楽しみながら、挨拶のフレーズを何回も繰り返して言うことをねらう。	デジタル教材 ワークシート（名刺カード）
【Let's Chant】“Hello!” p. 6 ・自分の名前に替えてチャンツを言う。	・音声教材を聞かせ、一緒に言う。	デジタル教材
【Let's watch and Think1】 (We can 1, p.2-3) ・1人2人の映像を見る。	・いきなり視聴するのではなく、見開きページを見ながら、これからの学習への主体的な関わりができるようにする。 ・すべてを聞き取るのが目的ではなく、学習が進むとこんな英語も理解できるようになると児童の期待を膨らませたい。児童の自信を損なうことがないように留意する。	デジタル教材 (We can 1, p.2-3)
・本時の活動をふり返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の英語を使おうとする態度でよかったところをほめる。 ・挨拶をする。	振り返りカード

評価

原則として、評価結果を記録しない。

留意点

次時に使用する名刺は、休み時間などを利用して各児童に作らせておく。

1-Lesson 1 Hello! 2/2時間		
目 標 世界には様々な言語があることを知り、積極的に英語で名前を言って挨拶をしようとする。		
準 備 教師用絵カード (国旗), デジタル教材, (振り返りカード)		

児童の活動	指導者の活動	準備物
○「あいさつをしよう。」 ・指導者と挨拶をする。 ・友達と挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童と挨拶をする。 ・周りの友達と挨拶をするよう告げる。	
【Let's Listen 2】 p.4,5 ・音声教材を聞いて、それがどこの国の挨拶か考える。 ・誌面を見て、気付いたことや知っていることを発表する。 ・世界の言葉で挨拶をする。	・音声教材を聞かせ、どこの国の挨拶か予想させる。 ・誌面の写真や国旗の絵を見て、気付いたことや知っていることを尋ねる。 ・世界の挨拶から1つ選んで、教室を歩いて回り出会った友達と挨拶させる。	教師用絵カード (国旗) デジタル教材
【Let's Listen 3】 p.6 ・3人の出身国を、誌面 p.4,5 をヒントに答え、音声教材を聞いて、3人の名前を () に記入する。	・3人がそれぞれの国出身かを尋ね、音声教材を聞かせ、それぞれの名前を尋ねる。 ・マリアとアレクシーの挨拶から、初対面の場合など、自分の名前を言ってから相手の名前を尋ねる等挨拶の仕方を確認する。	デジタル教材
【Let's Chant】 "Hello!" p. 6 ・チャンツを言う。	・音声教材を聞かせ、一緒に言う。	デジタル教材
【Activity】 p. 7 ・教室を歩いて回り出会った友達と挨拶をして、名刺を交換する。	・代表児童と挨拶をして、名刺交換をするデモンストレーションをする。 ・出会った友達と挨拶をして、名刺を交換するよう告げる。 ・もらった名刺を紹介させ、誌面p.7に貼らせる。	デジタル教材 名刺 (各児童が作成)
【Let's Listen 1】 (We can 1, p.4) ・登場人物が話す音声を聞き、何が好きかを聞き取って線で結ぶ。	・最初は、1人の情報を聞き取り、一度全員で答えを確認し、やり方を理解させたうえで進めるとよい。	デジタル教材 (We can 1, p.4)
・本時の活動をふり返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の英語を使おうとする態度でよかったところをほめる。 ・挨拶をする。	振り返りカード

評価

原則として、評価結果を記録しない。

留意点

本時に使用する名刺は、休み時間などを利用して各児童に作らせておく。